



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 クボテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7709 URL <https://www.kubotek.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史 (TEL) 06-6443-1815
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,306	7.3	△216	—	△219	—	△273	—
2023年3月期	1,217	19.7	△194	—	△179	—	△204	—

(注) 包括利益 2024年3月期 △284百万円(—%) 2023年3月期 △256百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△19.84	—	△47.3	△11.2	△16.6
2023年3月期	△14.88	—	△24.1	△9.8	△16.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,353	435	18.5	31.62
2023年3月期	1,581	720	45.5	52.31

(参考) 自己資本 2024年3月期 435百万円 2023年3月期 720百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	455	△226	75	1,126
2023年3月期	△146	△228	△215	817

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	640	41.8	△190	—	△195	—	△200	—	△14.53
通期	1,600	22.5	△160	—	△165	—	△185	—	△13.44

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付書類11ページ「連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	13,830,000株	2023年3月期	13,830,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	62,161株	2023年3月期	62,160株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	13,767,840株	2023年3月期	13,767,840株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,042	7.0	△196	—	△290	—	△300	—
2023年3月期	974	27.3	△243	—	△199	—	△229	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	△21.82		—					
2023年3月期	△16.67		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	2,312		493		21.3	35.85		
2023年3月期	1,502		794		52.8	57.67		

(参考) 自己資本 2024年3月期 493百万円 2023年3月期 794百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
生産、受注及び販売の状況	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、社会・経済活動の正常化が一段と進展したことに伴い、緩やかな回復傾向がみられました。一方で円安に伴う物価上昇や中国経済の減速など不安材料も多く、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。フラットパネルディスプレイ（FPD）の分野におきましては、当社取引先の一部企業には、これまでの設備投資の先送りや抑制から投資に向かう動きも見られましたが、本格的な回復を見通すことはできませんでした。

このような環境の中、当社グループは販売拡大に向けた開発及び営業活動を展開してまいりました。画像処理外観検査装置の受注は概ね堅調で、受注実績が伸び生産が増加するなかで納期との関係から売上に寄与するまでに時間を要しました。また、3Dソリューションシステム製品の販売は、新規顧客開拓が進まず売上は伸び悩みました。

この結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高1,306百万円（前連結会計年度比7.3%増）、営業損失216百万円（前連結会計年度は営業損失194百万円）、経常損失219百万円（前連結会計年度は経常損失179百万円）となり、特別損失に減損損失47百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は273百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失204百万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

(日本)

日本セグメントでは、主に中国向けの画像処理外観検査装置の売上が伸長し増収となりましたが、経費の増加などから損益の改善は限定的でした。この結果、売上高は797百万円（前連結会計年度比11.7%増）、セグメント損失は196百万円（前連結会計年度はセグメント損失243百万円）となりました。

(米国)

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上が円安の影響で円貨ベースでは増加しましたが、現地通貨ベースでは伸び悩みました。この結果、売上高は508百万円（前連結会計年度比3.2%増）、セグメント損失は32百万円（前連結会計年度はセグメント損失64百万円）となりました。

(韓国)

韓国セグメントは、前連結会計年度において、同セグメントであったKUBOTEK KOREA CORPORATIONを清算したため、当連結会計年度では該当ありません。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ772百万円増加しました。流動資産は現金及び預金の増加309百万円、棚卸資産の増加458百万円などにより、761百万円増加しました。固定資産はソフトウェアの増加14百万円などにより、11百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,057百万円増加しました。流動負債は短期借入金の増加250百万円、契約負債の増加857百万円などにより、1,116百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少88百万円とリース債務の増加27百万円などにより、59百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純損失273百万円の計上、為替換算調整勘定の減少11百万円により、純資産合計が284百万円減少しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ309百万円増加し、1,126百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は、455百万円（前連結会計年度は、資金の使用146百万円）となりました。

これは主に減価償却費の計上205百万円、売上債権の減少73百万円、仕入債務の増加53百万円、契約負債の増加842百万円などの資金増加、税金等調整前当期純損失の計上266百万円、棚卸資産の増加457百万円などの資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、226百万円（前連結会計年度比0.7%減）となりました。

これは主にソフトウェアの取得による支出219百万円などの資金減少によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果取得した資金は、75百万円（前連結会計年度は、資金の使用215百万円）となりました。

これは短期借入金増加250百万円と長期借入金の返済による支出174百万円などの資金減少によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第38期 2023年3月期	第39期 2024年3月期
自己資本比率	45.5	18.5
時価ベースの自己資本比率	192.4	131.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	-	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	-	111.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式除く）により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、不安定な国際情勢の長期化や中国経済の先行き懸念などから、企業の設備投資の動向は不透明で、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。

次期の業績予想につきましては、受注実績を着実に売上に繋げることで回復に向かうものと予想しておりますが、生産面での長納期化や新製品の収益伸び悩みなど課題を慎重に検討し、業績回復にはもう少し時間を要するものと予想しております。その結果通期では、売上高1,600百万円（前連結会計年度比22.5%増）、営業損失160百万円（前連結会計年度は営業損失は216百万円）、経常損失は165百万円（前連結会計年度は経常損失219百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は185百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失は273百万円）を見込んでおります。

「業績予想に関する留意事項」

この資料に記載されている2025年3月期の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、投資等の判断を行うに際しては、これらの業績見通しのみには依拠することは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

現在当社の主たる事業活動領域は液晶、次世代ディスプレイ、機能性フィルムなどの検査機システムですが、生産効率化への寄与、新素材への対応など、急速な技術開発を特徴とする市場であり、需要の変動、設備投資額の動向、価格、競争状況、経済環境の変化、その他多くの要因が業績に影響を与えることがあります。また当社は国内だけではなく海外においても取引を行っております。現在はほぼ円貨建取引を行っておりますが、将来外貨建取引が増え、為替相場の変動が業績に影響を与える状況になる可能性もあります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、6期連続して営業損失を計上し、また前連結会計年度において営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって、業績の変動が避けられず継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が当連結会計年度末に存在しております。

当社グループといたしましては、当該状況を解消するため主に日本セグメントの画像処理外観検査装置と、米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また社内で複数のプロジェクトチームを立ち上げ、各事業を横断的に戦略的な製品開発を推進してまいります。

画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。

さらに新規事業として、オーディオ事業では米国市場において製品を上市し販売態勢を整え、今後収益獲得に貢献できるよう事業展開を進めます。これら施策によってグループの収益力向上と財務体質強化を図り、安定した経営基盤を築いてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	849,220	1,158,415
受取手形	13,663	5,786
電子記録債権	37,444	3,518
売掛金	204,595	176,567
商品及び製品	12,340	13,339
仕掛品	101,560	579,534
原材料及び貯蔵品	73,735	52,876
その他	22,478	87,335
貸倒引当金	△9,636	△10,742
流動資産合計	1,305,402	2,066,631
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	294,064	288,418
減価償却累計額	△294,060	△288,413
工具、器具及び備品 (純額)	4	4
その他	202,002	180,501
減価償却累計額	△201,255	△180,500
その他 (純額)	747	0
有形固定資産合計	751	4
無形固定資産		
ソフトウェア	240,513	255,274
その他	0	0
無形固定資産合計	240,513	255,274
投資その他の資産		
投資有価証券	368	368
破産更生債権等	173	173
その他	34,256	31,638
貸倒引当金	△173	△173
投資その他の資産合計	34,625	32,007
固定資産合計	275,890	287,286
資産合計	1,581,292	2,353,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,109	99,575
短期借入金	—	250,000
1年内返済予定の長期借入金	174,656	88,656
未払法人税等	11,823	12,696
契約負債	258,843	1,116,073
賞与引当金	3,400	5,260
その他	99,471	139,022
流動負債合計	594,304	1,711,283
固定負債		
長期借入金	234,084	145,428
契約負債	6,116	11,036
退職給付に係る負債	23,848	20,182
リース債務	—	27,922
その他	2,762	2,762
固定負債合計	266,811	207,333
負債合計	861,116	1,918,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△1,120,683	△1,393,855
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	749,348	476,176
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△29,172	△40,874
その他の包括利益累計額合計	△29,172	△40,874
純資産合計	720,176	435,301
負債純資産合計	1,581,292	2,353,918

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,217,776	1,306,352
売上原価	762,372	770,956
売上総利益	455,404	535,396
販売費及び一般管理費	649,746	752,224
営業損失(△)	△194,342	△216,828
営業外収益		
受取利息	111	533
受取配当金	15	30
為替差益	17,969	-
債務免除益	-	1,205
ポイント還元収入	-	354
その他	1,124	-
営業外収益合計	19,221	2,123
営業外費用		
支払利息	3,833	4,145
支払保証料	630	630
為替差損	-	155
その他	19	-
営業外費用合計	4,483	4,931
経常損失(△)	△179,604	△219,636
特別利益		
固定資産売却益	30	41
為替換算調整勘定取崩額	15,137	-
特別利益合計	15,168	41
特別損失		
減損損失	31,147	47,348
関係会社整理損	3,369	-
特別損失合計	34,516	47,348
税金等調整前当期純損失(△)	△198,953	△266,943
法人税、住民税及び事業税	5,898	6,228
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	5,898	6,228
当期純損失(△)	△204,852	△273,172
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△204,852	△273,172

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純損失(△)	△204,852	△273,172
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△51,659	△11,702
その他の包括利益合計	△51,659	△11,702
包括利益	△256,511	△284,874
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△256,511	△284,874
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△915,831	△81,717	954,201	22,486	22,486	976,687
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△204,852		△204,852			△204,852
自己株式の取得			△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△51,659	△51,659	△51,659
当期変動額合計	-	△204,852	△0	△204,852	△51,659	△51,659	△256,511
当期末残高	1,951,750	△1,120,683	△81,717	749,348	△29,172	△29,172	720,176

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△1,120,683	△81,717	749,348	△29,172	△29,172	720,176
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△273,172		△273,172			△273,172
自己株式の取得			△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△11,702	△11,702	△11,702
当期変動額合計	-	△273,172	△0	△273,172	△11,702	△11,702	△284,874
当期末残高	1,951,750	△1,393,855	△81,717	476,176	△40,874	△40,874	435,301

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△198,953	△266,943
減価償却費	150,445	205,795
減損損失	31,147	47,348
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	492	905
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△150	1,860
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	615	△3,665
受取利息及び受取配当金	△126	△563
支払利息	3,833	4,145
為替差損益 (△は益)	△18,893	△1,249
固定資産売却損益 (△は益)	-	△41
為替換算調整勘定取崩額	△15,137	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△51,284	73,709
棚卸資産の増減額 (△は増加)	81,496	△457,128
未収消費税等の増減額 (△は増加)	5,753	△59,688
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,969	△3,969
仕入債務の増減額 (△は減少)	△56,886	53,015
契約負債の増減額 (△は減少)	△20,080	842,348
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,732	1,059
未払金の増減額 (△は減少)	△62,674	△28,589
その他	14,418	57,303
小計	△136,747	465,651
利息及び配当金の受取額	126	563
利息の支払額	△3,739	△4,105
法人税等の支払額	△5,870	△6,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	△146,231	455,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,045	△7,692
有形固定資産の売却による収入	-	41
ソフトウェアの取得による支出	△223,773	△219,052
その他	7,621	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,197	△226,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	250,000
長期借入金の返済による支出	△215,658	△174,656
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△215,658	75,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,987	4,674
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△564,099	309,194
現金及び現金同等物の期首残高	1,381,642	817,543
現金及び現金同等物の期末残高	817,543	1,126,737

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、6期連続して営業損失を計上し、また前連結会計年度において営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって、業績の変動が避けられず継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が当連結会計年度末に存在しております。

当社グループといたしましては、当該状況を解消するため主に日本セグメントの画像処理外観検査装置と、米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また社内で複数のプロジェクトチームを立ち上げ、各事業を横断的に戦略的な製品開発を推進してまいります。

画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。

さらに新規事業として、オーディオ事業では米国市場において製品を上市し販売態勢を整え、今後収益獲得に貢献できるよう事業展開を進めます。これら施策によってグループの収益力向上と財務体質強化を図り、安定した経営基盤を築いてまいります。

ここ数年は業績の大きな変動を出来るだけ抑え、事業構造の改革と安定した収益拡大に取り組んでまいりました。しかしながら客先の設備投資計画の変動や納期の長期化の影響などで、安定した収益力の回復までにはしばらく時間を要するものと考えられます。また資金調達の状況等によっては今後の当社の資金繰りに重要な影響を及ぼす可能性があることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表に反映しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、画像処理外観検査装置の他、3Dソリューションシステム及びメディアネット機器を生産・販売しております。主な生産活動は当社が担当し、販売活動のうち、国内とアジア地域においては当社が、米州においては米国子会社が担当しております。

海外子会社は独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、直近の有価証券報告書の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国(注)	
売上高				
外部顧客への売上高	714,426	492,774	10,575	1,217,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	259,831	-	12,228	272,060
計	974,258	492,774	22,804	1,489,836
セグメント損失(△)	△243,091	△64,709	△21,576	△329,376
セグメント資産	1,502,830	108,724	-	1,611,555
その他の項目				
減価償却費	159,937	576	98	160,612
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	238,185	37,468	1,612	277,266

(注) 「韓国」セグメントであるKUBOTEK KOREA CORPORATIONは、当連結会計年度において清算終了したことにより連結の範囲から除外し、連結子会社であった期間の損益計算書のみ連結しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国(注)	
売上高				
外部顧客への売上高	797,836	508,516	-	1,306,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	245,001	-	-	245,001
計	1,042,838	508,516	-	1,551,354
セグメント損失(△)	△196,356	△32,142	-	△228,499
セグメント資産	2,312,248	82,206	-	2,394,454
その他の項目				
減価償却費	208,421	321	-	208,742
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	234,073	43,102	-	277,175

(注) 「韓国」セグメントは、前連結会計年度において、同セグメントであったKUBOTEK KOREA CORPORATIONを清算したため、当連結会計年度では該当ありません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,489,836	1,551,354
セグメント間取引消去	△272,060	△245,001
連結財務諸表の売上高	1,217,776	1,306,352

(単位：千円)

損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△329,376	△228,499
セグメント間取引消去	6,572	7,053
内部利益の調整額	4,878	△7,069
貸倒引当金の調整額	123,582	11,686
連結財務諸表の営業損失(△)	△194,342	△216,828

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,611,555	2,394,454
セグメント間取引消去	△564,220	△652,253
内部利益の調整額	△6,823	△13,893
その他	540,782	625,609
連結財務諸表の資産合計	1,581,292	2,353,918

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	160,612	208,742	△10,167	△2,947	150,445	205,795
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	277,266	277,175	△4,708	△10,016	272,557	267,158

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、内部利益の消去額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理 外観検査装置	3Dソリューション システム	メディアネット機器	合計
外部顧客への売上高	499,690	575,268	142,817	1,217,776

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
389,946	22,778	184,509	126,364	448,424	45,752	1,217,776

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
275	3	471	751

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理 外観検査装置	3Dソリューション システム	メディアネット機器	合計
外部顧客への売上高	641,450	600,344	64,558	1,306,352

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
262,954	55,905	31,693	447,103	461,610	47,085	1,306,352

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
0	4	0	4

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Xiamen Tianma Optoelectronics Co., Ltd.	434,000	日本

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
減損損失	8,479	22,667	-	31,147

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国(注)	
減損損失	4,568	42,779	-	47,348

(注) 「韓国」セグメントは、前連結会計年度において、同セグメントであったKUBOTEK KOREA CORPORATIONを清算したため、当連結会計年度では該当ありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	52円31銭	31円62銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△14円88銭	△19円84銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△204,852	△273,172
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失金額(△)(千円)	△204,852	△273,172
普通株式の期中平均株式数(株)	13,767,840	13,767,840

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前期比(%)
日本	1,278,659	+108.0
米国	508,539	+3.2
合計	1,787,199	+60.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 「韓国」セグメントは、前連結会計年度において、同セグメントであったKUBOTEK KOREA CORPORATIONを清算したため、当連結会計年度では該当ありません。

(2) 受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前期比(%)	受注残高(千円)	前期比(%)
日本	1,118,350	△17.7	1,670,400	+40.0

- (注) 1. 米国については、見込生産を行っているため受注実績はありません。
 2. 「韓国」セグメントは、前連結会計年度において、同セグメントであったKUBOTEK KOREA CORPORATIONを清算したため、当連結会計年度では該当ありません。

(3) 販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前期比(%)
日本	797,836	+11.7
米国	508,516	+3.2
合計	1,306,352	+7.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前連結会計年度		当連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
Xiamen Tianma Optoelectronics Co., Ltd.	-	-	434,000	33.2

3. 前連結会計年度について、当該割合が100分の10を超える相手先がないため、記載を省略しております。
 4. 「韓国」セグメントは、前連結会計年度において、同セグメントであったKUBOTEK KOREA CORPORATIONを清算したため、当連結会計年度では該当ありません。